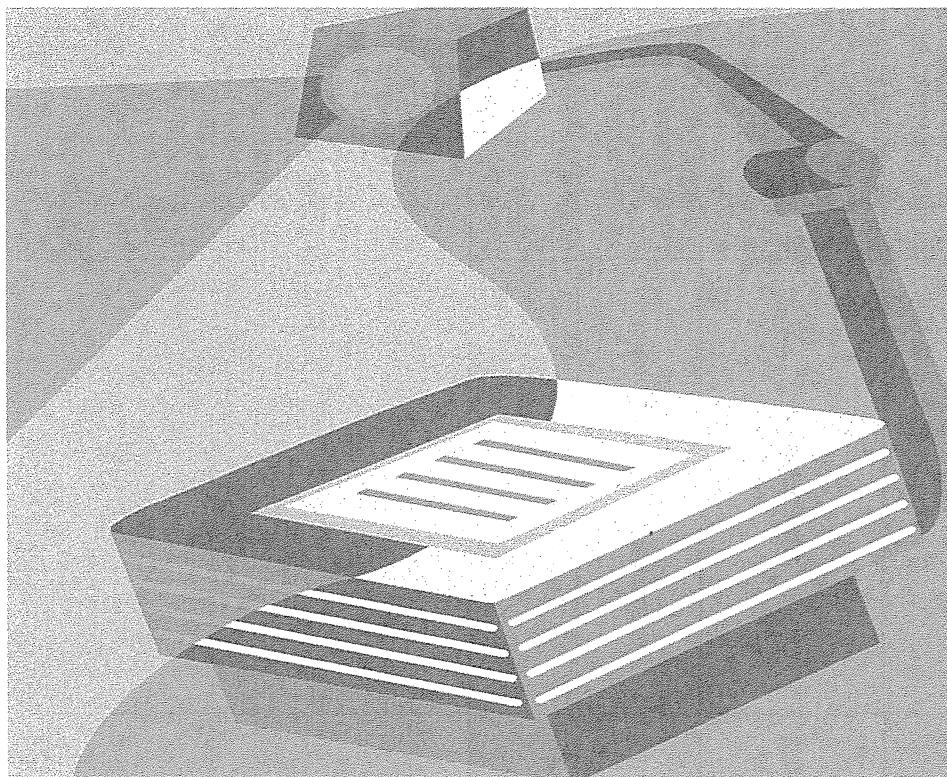


狛江市市民公益活動事業補助金

(スタートチャレンジ補助金)

平成25年度選考会



平成25年 5月25日

狛江市役所 地域活性課

平成25年度 狛江市市民公益活動事業補助金 応募団体(全7団体)

頁	分類	団体名	事業名	事業内容	申請額
1	3 スター	ヘルマン・ソーセージドイツと日本を結ぶ「ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会」	ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡調査研究	狛江と深い関係にあつたヘルマン・ウォルシュケさんはその大きな功績にも拘わらず狛江市民にあまり知られていない。今年はヘルマンさんの生誕120年、没後50年の節目にあたる所以、その教育的な生涯と功績を讃美演会・展示会等でPRしていくたい。また、生誕の地ドイツのゼンフターベルク(ベルリン)の南約120キロは湖畔にある「緑と水の町」を掲げている小都市であり、狛江市と友好を深めるにはよい相手と思われる。あわせてこの機会に市内・他地域でヘルマンさん気に興味を持つ会員を増やしたい。	50,000円
2	9 スター	特定非営利活動法人日本国際藝術研究院	書画芸術養成講座	昨年狛江市ではNPO法人日本国際藝術研究院は狛江市の拠点として書画芸術に開かれる活動はまだ行われていなかった。これから我が研修院は狛江市の地域芸術文化の振興及び普及に寄与し、より豊かな地域社会を築くために貢献することを目標とする。書画芸術の交流によって狛江市の事業は先ず書画芸術養成講座を設け、書画の交流を通じて、市民との友の輪を広げる。そして、ほかの地域、芸術団体と連携して行くことを考えている。更に国際協力の進展を図り、より豊かな地域社会を築くために貢献することを目指す。	50,000円
3	15 スター	野菜プロジェクト	地場野菜の放射能測定を行うプロジェクト	二年前の3・11以降、関東圏の農産物も放射能汚染が懸念されるようになつた。地場野菜を実際に測定することで食の安心を確認したいと考えている。測定結果は広く公表し、安心できる野菜、また、子どもが食するのに注意を要する食材(放射能を検出したもの)を認識することによって、地場野菜のよき広い普及が促されることを期待している。測つて食べるることを基本的な姿勢としたい。	50,000円
4	23 チャレンジ新規	吃音サポート『ジークフリツル』	言語聴覚士による相談事業	(内容)本団体が行う月例会に、吃音に詳しい言語聴覚士(ST)が常駐し、無料で相談や質問に応じる。(期待する効果)一人で悩んでいる当事者やご家族、周囲の方の不安解消。コミュニケーションに不安がある方のグループ参加。	200,000円
5	29 チャレンジ継続	チームピースチャレンジャー狛江支部	アジアと市民の心を繋ぐ平和学習“写真展、講演会、交流会、フェアトレード展”の開催	インド社会を描いた写真展、パングラデシュの子どもたちの写真展、インドの児童労働について講演会、インドのNGOとの交流会、アジアのフェアトレード製品紹介と製造についての会合開催。H24年度の事業に参加された方々の中に、アジアの社会や貧困について、もっとと知りたい、話を聞きたいとの要望がありました。同時に市内でヨガ、インド文学、インド音楽、サンスクリット語講座を開いていらっしゃる方々や生徒さん達から、アジア繋がりとしての交流会を希望されました。こういった希望者との横の繋がりを何よりも大切に考え今後の市民の輪を平和という輪で繋げていきたいと思つています。同時に企に参加された市民の方が、表に出でない部分を含めてアジアの社会や子ども達や女性達の現状の問題等を知ることによって、又フェアトレードの必要性を理解する事によって、国際協力の重要性を認識し、今後の市民の方々の生活の変革や意識の向上に役立つよう市民に対して啓発していきたいと考えています。	200,000円
6	35 チャレンジ新規	ミュージカルCoCo～	市民ミュージカル「さくや姫とあおい」上演	狛江に参加する大人と子どもが力を合わせて稽古を積む段階で、日常では得られない体験をし、大人と子どもの絆を越えて互いに成長できる。低料金ながら質の高いものを上演することでミュージカルに触れる機会のなかつた人に観劇のきっかけを提供できる。子どもたちが人前で表現することで自信を持つことができる。	200,000円
7	41 チャレンジ継続	おにぎり少年団	狛江周辺の小、中学生を中心にして、月3回の活動を通して、毎月一回の行事に向け月間に2回会議を行い、自分達で行事の内容や目標を定めいく。その活動を通じこども達の父母や、地域の方々など協力していく。狛江市全体と交流を持つことで、この活動を中心地域活性に役立てる。今年度は、補助金による参加費削減をより広くアピールし、少年団の団員補強を行つていき、少年団外の交流を増やすことで、活動の幅を広げていきたい。	200,000円	

スタート補助金の部

-ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだ-

ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金（スタート補助金）申請書

平成25年5月14日

柏江市長様

申請者 所在地 _____

団体名 一ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだー

ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡を

たどる会

代表者氏名 飯田吉明

平成25年度市民公益活動事業（スタート補助金）の交付を次のとおり申請します。

記

1 事業名称 ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡調査研究と発表

2 事業費総額 100,000 円

3 交付要望額 50,000 円

添付書類

- ① 団体概要書（様式第2号）
- ② 事業計画書（様式第3号）
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書（任意様式）
- ④ 団体の定款、会則等（任意様式）
- ⑤ 団体構成員名簿（任意様式）
- ⑥ その他必要と認める書類



様式第2号 (第8条関係)

団体概要書

フリガナ	ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだ—ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会		
団体名	ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだ—ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会		
フリガナ	イイダヨシアキ		
代表者名	飯田 吉明		
所在地 (事務所等)	住所	()	
	電話	e-mail	
	FAX	HP	
連絡担当者	フリガナ		(自宅)
	氏名		(携帯)
	住所	(〒 - -)	
	e-mail		
設立年月日	平成25年4月2日		
設立目的	ヘルマン・ウォルシュケさんは、第一次大戦中軍人として広島県の捕虜収容所に収容され、戦後も日本に滞在して食肉加工の技術を伝授、日本人の食生活に多大な影響を与えた。そのヘルマンさんは長い間泊江市に工場を構え、墓所も市内泉龍寺にある。 今年はヘルマンさんの生誕120年、没後50年の節目にあたるため、改めて足跡を調査研究し、功績を世に広め、生誕地（ドイツのゼンftenベルク市）と終焉の地（泊江市）の友好関係を深める好機と思われる。		
主な活動内容 ・活動実績	1. 平成25年度は調査研究にあたり、年2回程度成果を発表する。 2. 年度末にヘルマン・ウォルシュケさんを知る関係者の方々等による講演会を市内で開催。 3. 2と同時にヘルマンさん関係の写真を展示する。 4. すでに情報提供を受けている生誕地（ドイツのゼンftenベルク市）と泊江市の文化交流に努める。 5. 次年度以降、順次調査研究の成果をまとめて書籍・HP等で発表、ヘルマンさんにちなんだ大規模な講演会・展覧会を開催する。		
主な活動地域	泊江市内	直近事業年度決算額 (支出総額)	年度 円
会員数	7人 (うち市内7人)	会費等	無・有 (年額・月額) 1,000円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡調査研究と発表
2 事業の目的（事業を実施する前提となった問題点、社会背景、期待される効果等を交え、具体的に記入してください。）	
<p>泊江と深い関係のあったヘルマン・ウォルシュケさんはその大きな功績にも拘わらず泊江市民にあまり知られていない。</p> <p>今年はヘルマンさんの生誕120年、没後50年の節目にあたるので、その数奇な生涯と功績を講演会・展覧会等で泊江市民に紹介し、ヘルマンさんへの興味を喚起したい。</p> <p>ヘルマンさんの業績には泊江が大きな役割を果たしていることが分かり、市民は一層泊江市に誇りを持つようになると思われる。</p> <p>また生誕の地ドイツのゼンフテンベルク（ベルリンの南約120キロ）は湖畔にあり、「水と緑の町」を掲げる小都市である。泊江市と友好関係を結ぶにはよい相手と思われる。</p> <p>これを機会に市内・他地域でヘルマンさんと泊江市に興味を持つ会員を増やしたい。</p>	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <p>講演会・展覧会は市内の公民館・地域センター・会館のいずれかで実施。</p>	
<p>② 対象者</p> <p>泊江市民・他地域でヘルマンさんに興味のある方。ゼンフテンベルク市民にも呼びかける。</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>「わっこ」、食肉店・町会・自治会等を通じてポスター・チラシ等の配付。</p>	
<p>④ 具体的内容／事業実施体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 講演会は当面郷土史研究家、ヘルマンさんの親族・関係者による。 展覧会はヘルマンさんの親族・関係者より借用した写真を中心に、ゼンフテンベルク市の紹介写真を展示する。 写真の収集、調査研究には会員が当たる。 イベントの実施にあたっては、会員・有志のほか泊江市内でヘルマンさんと最も関係の深かった泊江三叉路付近の町会「銀行町親和会」の会員に支援を依頼する。 	

事 業 計 画 書 (1-2)

4 事業実施スケジュール

1. 平成25年度は資料収集に努め、2~3回調査研究の成果発表会を開く。
2. 平成25年12月までに、講演者の人選、基礎的な写真の収集を終える。
3. 平成26年3月下旬までにまとめた資料による講演会・小展覧会を開催。次年度以降、資料をまとめつつゼンフテンベルク市と提携したイベントを開催、印刷物または電子書籍の発行、本格的な展覧会・講演会の開催等を実現する。

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。
1	ヘルマン・ウォルシュケさんは泊江市と深い関係にありながら、その生涯・業績はあまり世に知られていない。今回の事業を通じて改めてヘルマンさんの研究資料が泊江市に集積され、情報発信基地となる。
2	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。
3	数奇な人生を送り、日本人の食生活を変えた偉大なドイツ人が泊江と深い関係があり、泊江市に眠っている。この事実は、活気ある文化都市泊江を目指す市民には格好の材料になる。また国際化を目指す青少年にドイツへの興味を喚起させ、視野を広げる役割を果たす。
4	事業計画及び收支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。
5	1. ヘルマン・ウォルシュケさんの次男（世襲で同名）の方が、現在食肉加工会社ヘルマン工房の顧問として活躍しており、貴重な情報を提供してもらえる。 2. 次年度以降は食肉関係機関、会員より寄付を募る。
	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。
4	1. ヘルマンさんの業績・泊江における足跡の研究調査は、泊江市が情報発信の中心となり、市民に新たな視点と興味を提供することになる。 2. ゼンフテンベルク市との友好関係はヘルマン工房の顧問がすでに同市を訪問、泊江市内で発行した冊子「思い出の銀行町」も同市に寄贈されている。両市の友好関係は将来日独の文化交流にも寄与すると思われる。
	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。
5	1. 調査研究事業は永続性があり、次年度以降も数多くの発表事業が成立する。 2. 泊江・ゼンフテンベルク両市の主催で市民の相互訪問やイベントが毎年開催できる。 3. 調査研究事業やイベントを通じて、会の組織的・経済的成长が期待できる。

ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだー
 ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会収支予算書
 <事業費関係>

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
寄付金	30,000	講師謝礼(5000円×3)	15,000
支援金	50,000	資料借用謝礼	10,000
		写真複写代	20,000
		会場使用料	10,000
		コピーデ・文具購入代	10,000
		交通通信費	10,000
		予備費	5,000
合計	80,000	合計	80,000

特定非営利活動法人日本國際藝術研究院

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金（スタート補助金）申請書

平成25年5月15日

狛江市長あて

申請者 所在地 _____

団体名 特定非営利活動法人日本國際藝術研究院

代表者氏名 王紅

平成25年度市民公益活動事業（スタート補助金）の交付を次のとおり申請します。

記

1 事業名称 書画藝術養成講座

2 事業費総額 80,000 円

3 交付要望額 50,000 円

添付書類

- ① 団体概要書（様式第2号）
- ② 事業計画書（様式第3号）
- ③ 団体及び補助申請事業の收支予算書（任意様式）
- ④ 団体の定款、会則等（任意様式）
- ⑤ 団体構成員名簿（任意様式）
- ⑥ その他必要と認める書類

様式第2号（第8条関係）

団体概要書

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジンニホンコクサイゲイジュツケンキュウイン			
団体名	特定非営利活動法人日本國際藝術研究院			
フリガナ	オウ コウ			
代表者名	王 紅			
所在地 (事務所等)	住所	()		
	電話		e-mail	
	FAX		HP	
連絡担当者	フリガナ		電話	(自宅) _____
	氏名		電話	(携帯) _____
	住所	()		
	e-mail			
設立年月日	平成24年8月15日			
設立目的	この法人は、日本及び世界の書画藝術を愛好し、諸外国の文化、藝術、學術、情報などの各分野の交流に關心を有する人々に対して、書画藝術に關わる事業を行い、國際間の書画藝術の交流によって、藝術文化の振興と普及に寄与することを目的とする。			
主な活動内容 ・活動実績	平成24年度は「國際書画大賞展」を主な活動として事業を展開した。東京都美術館にて第七回・国際公募「國際書画大賞展」を開催するとともに、書画藝術の会報及び書画藝術の作品集を発行した。			
主な活動地域	東京都内	直近事業年度決算額 (支出総額) 平成24年度	3,310,000 円	
会員数	30 人 (うち市内 1 人)	会費等	無・園(年□額・月額) 3,000 円	

事業計画書（1-1）

1 事業名称	書画藝術養成講座
2 事業の目的（事業を実施する前提となった問題点、社会背景、期待される効果等を交え、具体的に記入してください。） 昨年狛江市ではNPO法人日本國際藝術研究院を設立したが、この地域において書画藝術の活動はまだ行われていない。これから我が研究院は狛江市を拠点として書画藝術に関わる事業を展開し、書画藝術の交流によって狛江市の地域藝術文化の振興及び普及に寄与し、より豊かな地域社会を築くために貢献することを目的とし、様々な藝術活動を行う。この事業は先ず書画藝術養成講座を設け、書画の交流を通じて、市民との友の輪を広げる。そして、ほかの地域、藝術団体と連携して行くと考えている。更に國際協力の推進を図り、より豊かな地域社会を築くために貢献することを目標とする。	
3 事業の内容	
① 実施場所 講座は市内の地域センターで実施	
② 対象者 狛江市民及び書画藝術に関心のある方	
③ 告知方法 案内チラシの配布、団体ホームページ等により行う	
④ 具体的内容／事業実施体制 「書画藝術養成講座」（毎回交代で会員2名が対応） 翌年から絵画交友展・公募展等に活躍できる人材の育成を目指し、書画について基本的な技法と知識の修得を目的とした講座を開催する。先ず、今年度は4回で、来年度は毎月1回のペースで書画藝術の専門家による水墨画や書道などの講座を開催する。	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

- 7月：案内チラシの配布
- 9月：第3土曜日書画藝術養成講座開催
- 11月：第3土曜日書画藝術養成講座開催
- 1月：第3土曜日書画藝術養成講座開催
- 3月：第3土曜日書画藝術養成講座開催

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。
1	書画藝術に興味のある方でしたら男女、年齢、初心者、経験者問わず、どなたでも参加することが出来る。このような交流によって世帯の差がなくなり、人と人の交流を促進し、それを相互理解と対話の輪を広げる。新しい人材の育成にも力を入れて行きたい。
2	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。 狛江市の地域施設（岩戸地域センターとエコルマホール）を活用し、子供たちとお年寄りの方との溝を埋める。そして、書画藝術を通して芸術文化の交流と会員の親睦も深める。これが芸術に携わる者一人一人の求める使命である。さらに、市民の作品はプロとアマチュアも関係なく、芸術交流と創作で相互交流、理解、信頼醸成が進んでいく。
3	事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。 自助努力による以下の事業計画を実現したので、収支予算に現実性がある。 ①1996年12月日中國際絵画交友会発足。柿生教室がスタート。現在、7名の会員がいる。 ②2001年10月多摩教室スタート。現在、5名の会員がいる。 ③2004年4月青葉教室がスタート。現在、10名の会員がいる。 ④2006年3月北沢教室がスタート。現在、8名の会員がいる。
4	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。 本団体は法人となる前、日中國際絵画交友会すでに15年間の活動をしていた。今年11月に第22回・友の輪・水墨画交友展を麻生区民ギャラリーにて開催予定。今年8月に第八回・国際公募・国際書画大賞展を東京都美術館で開催予定。
5	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。 本事業は今までの実績とデータによる、自立活動することができる。例えば、昨年の国際書画大賞展の例として、ここに記す。 日時：平成24年9月1日～7日 場所：東京都美術館 主催：国際書画大賞展実行委員会 後援：外務省、文化庁、東京都、中国駐日大使館、（社）日本美術家連盟、（社）日中友好協会、日本中国文化交流協会など。出品者数：275名 出品点数：375点（審査員・招待作品25点） 入場者数：1,963名（入場無料、6日間の合計） このような実績を達成するために、来年度のチャレンジ補助金についても活用したい。

收支予算書

団体名 特定非営利活動法人日本國際藝術研究院

収入の部

項目	金額	内訳
狛江市市民公益活動事業補助金	50,000	
会費	30,000	3,000円×10人
合計	80,000	

支出の部

項目	金額	内訳
消耗品費	12,800	事務用品(筆・紙・墨・顔料など)
印刷代	20,000	案内チラシ印刷代
講師謝礼	40,000	講座10,000×4回
通信費	5,000	ハガキ・切手代
会場使用料	2,200	岩戸地域センター施設使用料600円×2回 エコルマホール施設使用料500円×2回
合計	80,000	

野菜プロジェクト

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金（スタート補助金）申請書

2013年 5月 15日

柏江市長あて

申請者 所在地 _____

団体名 野菜プロジェクト _____

代表者氏名 高木 聰子 _____

2013年度市民公益活動事業（スタート補助金）の交付を次のとおり申請します。

記

1 事業名称	<u>地場野菜の放射能測定を行うプロジェクト</u>
2 事業費総額	<u>68,000</u> 円
3 交付要望額	<u>50,000</u> 円

添付書類

- ① 団体概要書（様式第2号）
- ② 事業計画書（様式第3号）
- ③ 団体及び補助申請事業の收支予算書（任意様式）
- ④ 団体の定款、会則等（任意様式）
- ⑤ 団体構成員名簿（任意様式）
- ⑥ その他必要と認める書類

団体概要書

フリガナ	ヤサイ		
団体名	野菜プロジェクト		
フリガナ	タカギ サトコ		
代表者名	高木 聰子		
所在地 (事務所等)	住所	()	
	電話		e-mail
	FAX		HP
連絡担当者	フリガナ		(自宅)
	氏名		電話 (携帯)
	住所	(〒 - - -)	
	e-mail		
設立年月日	2013年2月1日		
設立目的	2011年の3・11福島原発事故後、東京でも食材の放射能汚染を懸念する親たちが少なくない。狛江市周辺には畑も多く、給食でも使われる地場野菜の汚染具合の実際を自分たちで把握したいと考え、共同で放射能測定費用を出し合い、地場野菜の測定を行う本プロジェクトの会を設立しました。		
主な活動内容 ・活動実績	狛江市内および近隣地域の地場農産物の放射能測定を行う。 本年2月から3か月間に9検体を測定し、うち不検出6品と、10ベクレル(/kg)以下の検出を確認した野菜3品目を認めた。 測定結果はプロジェクト参加者にはもちろん、市民グループの集いでも公表し、情報を共有した。		
主な活動地域	狛江市と近隣	直近事業年度決算額 (支出総額) 2012年度	23,500円
会員数	29人 (うち市内 24人)	会費等	無・有(年額・月額) 一口600円

事業計画書（1-1）

1 事業名称	地場野菜を測るプロジェクト
2 事業の目的（事業を実施する前提となった問題点、社会背景、期待される効果等を交え、具体的に記入してください。）	
<p>二年前の3・11以降、関東圏の農産物も放射能汚染が懸念されるようになつた。</p> <p>地場野菜を実際に測定することで食の安心を確認したいと考えている。測定結果は広く公表し、安心できる野菜、また、子どもが食するのに注意を要する食材(放射能を検出したもの)を認識することによって、地場野菜のより広い普及が促されることを期待している。</p> <p>測って食べることを基本的な姿勢としたい。</p>	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <p>測定は、高木仁三郎記念ちょうふ市民放射能測定室（調布市布田2-2-6）で行う。</p>	
<p>② 対象者</p> <p>検体物は狛江市内および近隣の農産物。プロジェクト参加者は狛江を中心とした調布・世田谷在住者で、検査結果に基づき安心して狛江および近隣の地場野菜を食べたい人たち。</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>内部被ばくを心配する親たちを中心に声をかけると同時に、参加案内を公共施設に掲示する。測定結果はメール報告。最終的には印刷物を作成し公表する。</p>	
<p>④ 具体的内容／事業実施体制</p> <p>季節ごとに旬の野菜を3～4点ずつ入手し、各々測定所にて測定。本プロジェクトに賛同してくれる人からも一口600円の参加金を募り、野菜の測定を行い、結果を公表する。これが基本的な実施内容。</p> <p>測定結果がある程度まとまった時点で、野菜の栽培者（農家）にも報告し、農協や販売に適さないとして廃棄される農産物などを検体として提供してくれるよう協力も要請したい。</p> <p>測定結果は、一年間の終わりにはまとめ、印刷物として広く公表したい。安心が得られる結果があれば、給食に地場野菜をより多く取り入れてもらえる要望も出していきたい。</p> <p>最終的には、狛江の農業がより活性化することを期待して尽力したい。消費者としても、地場の新鮮な野菜が安心して食べられることは何より大きな収穫となるだろう。</p>	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

季節ごとに、一回あたり3~4品目ずつを測定する。本年6月から、初夏、夏、秋、冬、春とそれぞれに出荷される主立った農産物を選び測定する。測定結果は、参加者には隨時メール報告。折々に、農家にも報告し、狛江産の農産物の安心情報を得る取り組みとして認知いただければよい協力関係を築けると期待している。

1年後には、測定結果をまとめ、印刷物として広く公表することを目標にしている。

また、安心できる測定結果が得られれば、給食に地場野菜を多く使ってもらえるよう要望も出したいと考えている。

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。
1	多数の市民が共同出資する形で地場野菜の放射能測定を行っているのは、近隣地域では私たちのプロジェクトのみ。通年で多種の農産物を測定することにより、狛江と周辺地域の農産物の汚染実態が把握できる。
2	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。 保育園・小学校給食の放射能検査を求める要望が、放射能の内部被ばくを怖れる親たちから行政に出されている。狛江は畑も多く、地場野菜の販売も少なくない。測定して地場の食材の安心が得られる期待している。
3	事業計画及び收支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。 測定料金は本来、一検体3千円だが、継続して多数依頼することが前提となる本プロジェクトの測定料金は特別に一検体2千円としてもらっている。また、検体となる農産物（販売に適していない野菜など）の提供協力を、農家に求めていきたい。
4	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。 本年の2月から3か月間で9検体を測定した。結果は、6検体が不検出、3検体から10ベクレル(/kg)以下を検出した。予想より不検出の野菜が多くかった。さらに測定を続けることで、より安心できる結果が得られる期待している。
5	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。 本団体は、通年で地場野菜の放射能測定を行うことによって、狛江とその近隣地域の農産物の放射能汚染具合を把握し、今後も地場農産物を安心して食べられるための活動を続けていく。給食などで地場野菜を増やしてもらう取り組みなども行いたいと考えている。

収支予算書4
2013年度 1月～3/31)

野菜プロジェクト

<収入>		
内容	金額(円)	内訳
補助金	50,000	
参加金	18,000	600(円/一口) × 30(人)
合計	68,000	

<支出>		
測定費	60,000	2,000(円/一検体) × 30(品目)
農産物代	3,000	
印刷代	5,000	
合計	68,000	

チャレンジ補助金の部

吃音サポート『ジークフリーツ』

25年5月7日

泊江市長 様

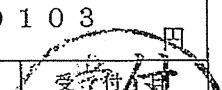
団体名 吃音サポート『ジークフリーツ』

代表者名 石田 千穂

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（25年度）

事業名称	言語聴覚士による相談事業					
実施時期（予定）	平成25年6月9日～平成26年3月9日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	内容) 本団体が行う月例会に、吃音に詳しい言語聴覚士(S.T.)が常駐し、無料で相談や質問に応じる。 期待する効果) 一人で悩んでいる当事者やご家族、周囲の方の不安解消。コミュニケーションに不安がある方のグループ参加。					

申込団体概要

団体名	吃音サポート『ジークフリーツ』					
代表者名	石田 千穂					
所在地 (事務所等)	住所	(〒　一　　)				
	電話		e-Mail			
	FAX		HP			
連絡担当者	氏名		電話	(自宅) (携帯)		
	住所	(〒　一　　)				
	e-Mail					
会員数	13 人(うち市内 9人)	会費等	無・●有(●年額・ 月額)	500 円		
主な活動地域	泊江市内		直近事業年度決算額 (支出総額) 24 年度	230103 円		
主な活動実績	月例会(吃音者のための歌と交流の集い) 月1回 女性当事者の交流会年3回 公開吃音学習会(年1回～数回)					 25.5.14 泊江市市民生活部 地域活性課

事業計画書

1、 事業名称 言語聴覚士による相談事業

2、 事業の目的

- ① 一人で悩んでいる当事者、ご家族、周囲の方の不安解消。
- ② コミュニケーションに不安がある方がグループ活動に参加しやすくなる。

3、 事業の内容

- ① 実施場所

狛江第一小学校音楽室

- ② 対象者

吃音のある当事者、ご家族。周囲の方。吃音に関わる専門職の方。

- ③ 告知方法

団体ホームページ。過去の参加者名簿、関係機関へのメールや案内チラシの配布を行う。

- ④ 具体的内容／事業実施体制

平成 25 年 6 月から平成 26 年 3 月の月例会ごとに、早坂吃音クリニックの言語聴覚士（以下 S T）の早坂菊子先生または吃音に対応できる S T1 名に駐在して頂き、個別相談に応じて頂く。場所は会場の一角に相談コーナーを設け、13 時半から 16 時半まで駐在し、相談料は無料とする。

4、 事業実施スケジュール

平成 25 年 6 月初旬。ホームページと関係者名簿を利用した広報を開始する。

平成 25 年 6 月から平成 26 年 3 月までの毎月第 2 日曜日午後、全 10 回、月例会で専門の言語聴覚士に駐在していただく。

平成 25 年 7 月：チラシ作成

平成 25 年 7 月以降：関連機関へのチラシ配布

5、 事業の自己 P R

1) 先駆的であり将来性のある事業であるかどうか。

吃音は原因が解明されておらず、治療法も確立していない。そのため言語・心理・医学・教育等どの分野の養成学校でもごく簡単に触れるだけなので、現実に対応できない。当事者や保護者は相談場所もなく悩みを抱えてしまうことで一層深刻になる場合もあり、この状況を早急に改善する必要がある。

本事業で依頼する言語聴覚士の早坂菊子氏は筑波大学、広島大学等での吃音研究と教育、民間支援施設での臨床に長年携わってこられた吃音の専門家である。

市民活動に専門家が入ることで支援が充実する。吃音においてこのような取り組みをしているところは全国でもほとんどない。

2) 市民のニーズや地域性に適合した特徴ある事業であるかどうか。

狛江市内には成人吃音に対応する専門機関がない。子どもに関しても小中学校に

ことばの教室がなく、教育研究所のことば相談も対応件数が多くて吃音まで手が回らない状況がある。参加者に長期ひきこもり体験者や就労困難者が珍しくない現状を鑑みると、吃音支援の充実は急務と考える。

3) 事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。

言語聴覚士謝礼 1回 18000 円の算出根拠は、ジークフリーツの運営スタッフである音楽療法家が招かれて指導している、調布第一小学校主催、ことばの教室『吃音グループ学習』の指導謝礼と同額とした。月例会では参加費を 500 円徴収しているが、こちらは従来の運営費用として必要である。大幅な値上げは学生や就労困難者がいる状況や、他に公的支援機関がない現状を考えると難しい。以上の理由から本事業は独立会計としたい。

4) 事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。

吃音は 2~4 歳児の 5% (年間 16 万人) で発症し、そのうち 4 年以内に自然回復するものは 74%、全人口における有病率は 1%、120 万人と推計される (国立障害者リハビリテーションセンター)。また当会を紹介されて参加する方の中には、吃音以外にも引きこもり、発達障害、神経症など社会的孤立に繋がる問題を抱えていることもある。

引きこもりを経験したことがある、または現在引きこもり状態にある子どもがいる家庭は推計 26 万世帯 (厚生労働省)、若年無業者 (ニート) は 60 万人 (厚生労働省)。発達障害や、強迫神経症・パニック障害、うつ病等の病院受診者は近年急増して実態が把握しきれない状況がある。

吃音の支援を充実させていくことがそれ以外の様々な社会問題の支援につながる可能性もあり、本事業はコミュニケーション問題の理解と改善に相当の効果が期待できる。

5) 事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。

本事業をきっかけに専門家に相談することや同じ悩みを持つ者同士の交流が助けになることが周知されれば、グループへの参加者も吃音を扱う ST も増えて、自主運営で事業を成立させられるようになることが期待できる。

吃音サポート『ジークフリーツ』

事業収支予算書

収入の部	狛江市市民公益活動事業補助金		200000
	合計		200000
支出の部	言語聴覚士謝礼	1回18000円×10回	180000
	広報費		20000
	合計		200000

チームピースチャレンジャー泊江支部

平成25年5月16日

狛江市長 高橋 都彦 様

団体名 チーム ピース チャレンジャー狛江支部

代表者名 藤田彩知代

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（H25年度）

事業名称	アジアと市民の心を繋ぐ平和学習“写真展、講演会、交流会、フェアトレード展”の開催					
実施時期（予定）	2013年6月～2014年3月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	インド社会を描いた写真展、バングラデシュの子どもたちの写真展、インドの児童労働について講演会、インドのNGOとの交流会、アジアのフェアトレード製品紹介と製造についての紹介等の会合開催。 H25年度の事業に参加された方々の中に、アジアの社会や貧困について、もっと知りたい、話を聞きたいとの要望がありました。同時に市内でヨガ、インド文学、インド音楽、サンスクリット語講座を開いていらっしゃる方々や生徒さん達から、アジア繋がりとしての交流会を希望されました。こういった希望者との横の繋がりを何よりも大切に考え今後の市民の輪を平和という和で繋げていきたいと思っています。同時に会に参加された市民の方々が、表に出ていない部分を含めてアジアの社会や子ども達や女性達の現実の問題等を知ることによって、又フェアトレードの必要性を理解する事によって、国際協力の重要性を認識し、今後の市民の方々の生活の変革や意識の向上に役立つよう市民に対して啓発していきたいと考えています。					

申込団体概要

団体名	チーム ピース チャレンジャー狛江支部				
代表者名	藤田彩知代				
所在地 (事務所等)	住所	()			
	電話		e-Mail		
	FAX		HP		
連絡担当者	氏名		電話	(自宅) (携帯)	
	住所	(〒)			
	e-Mail				

会員数	50人うち(市内8人)	会費等	無・有(年額・月額)	6000円
主な活動地域	柏江市	直近事業年度決算額 (支出総額) H24年度		686,906円
主な活動実績	<p>市民対象の啓発活動。</p> <p>① 講演会=ネパール社会、ポカラの女性達</p> <p>② 国際交流会=インドのNGO</p> <p>③ フェアトレード展示販売会=インド、ネパール、バングラデシュ、タイ</p> <p>④ 写真展=インド、バングラデシュの子どもたち、生活</p>	受付印 		

2013年6月～2014年3月 事業一覧

チーム ピース チャレンジャー泊江支部

月日	内 容	予定人数	場 所
6月9日	インドNGO“トラスト”との交流会（現地より招聘）	15名	泊江支部
7月27日	講演会“インドの児童労働について” 現地での活動者講演依頼	30名	エコルマホール
8月	インド、バングラデシュ、ネパール 写真展・フェアトレード展	50名	泉の森会館
9月	“フェアトレード活動について” 講演会（市民の要望）	20名	中央公民館
10月	プロジェクト事業 写真展	30名	泉の森会館
11月	インド・ボランティア報告会 (市民の要望)	15名	泊江支部
14年12月	インド、バングラデシュ、ネパール、 タイのフェアトレード展	50名	泉の森会館
2月	講演会 “ボランティア活動とは”	20名	公民館
3月30日	ボランティア会	10名	ボランティア宅

2013年 事業予算 (チャレンジ補助金)

千葉ロッテマリーンズ独立支部

収入	金額	支出	金額
売上	150,000		
チャレンジ補助金	200,000		
		使用料(会場費) 印刷製本費 消耗品費 通信費 備品購入費 報償費 交通費 荷造運搬費	100,000 40,000 50,000 16,000 40,000 80,000 20,000 4,000
	350,000		350,000

ミュージカル CoCo~

25年 5月 15日

柏江市長 高橋都彦 様

団体名 ニュージカル Coco~

代表者名 田部谷 道子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（25年度）

事業名称	市民ニュージカル「さくや姫とみの」上演					
実施時期（予定）	平成25年 7月14日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	○公演に参加する大人と子どもが力をあわせて稽古を積む段階で、日常では得られない体験をし、大人と子どもの拌を越えて互いに成長できる。 ○料金ながら質の高いものを上演する事で、ニュージカルに触れる機会の少ない人に観劇のきっかけを持たせたい。 ○子どもたちが入前で表現する事で自信を持った事に注目					

申込団体概要

団体名	ニュージカル Coco~						
代表者名	田部谷 道子						
所在地 (事務所等)	住所	()					
	電話			e-Mail			
	FAX			HP			
連絡担当者	氏名			電話	(自宅) (携帯)		
	住所	()					
	e-Mail						
会員数	20人（うち市内 15人）		会費等	無・有(年額・月額) 400円又は 500円			
主な活動地域	柏江市内			直近事業年度決算額 (支出総額)	24 年度 1,771,158 円		
主な活動実績	○毎週土曜日の基礎トレーニング ○公開練習（随時） ○各種ワークショップ開催（バトン、ボストレーニング、演劇） ○イベントへの参加（川内と西河原、柏江市民まつり）						



ミュージカルCoCo～ H25年度 事業計画書

ミュージカル『さくや姫とあおい』上演およびバックステージツアー

バックステージツアー…7/13（土）18時（予定）

ミュージカル上演…7/14日（日）1回目 13:00～ 2回目 16:30～2回公演

場所…狛江エコルマホール

演目…ミュージカル『さくや姫とあおい』 脚本・演出 / 野崎美子 作曲 / 芳賀一之

入場料金…【バックステージツアー】 無料（小学生以上 事前申し込み 先着20名程度）

【ミュージカル上演】 全席自由 1000円（3歳以下無料）

演目あらすじ…卒業も近くなった中学生のあおいは、学校でのいじめに耐えかねこの世との別れを決心し
校庭の桜の木に縄をかける。目をとじて覚悟を決め実行にうつした時、桜の木の精や自然界の
精霊たちとの出会いがはじまる。開花のために一生懸命に力をつくす彼らを見ているうちに、
あおいの心の中に変化が・・・
生きるよろこび、感謝、友情をテーマに脚本も楽曲もすべてオリジナルの作品です。

事業実施の目的

- ・本公演の実施により、団体としての目的や社会的役割を果たすこと。
 - *出演者は一般市民であり、大人も子どもも精一杯力を合わせてけいこを積む段階でそれぞれが日常では得られない体験をし、大人子どもの枠をこえて互いに成長できる。
 - *低料金ながら、質の高い公演を市内で上演することで、ミュージカルに触れる機会のながった人にも観劇の場を提供できる。
 - *メンバーが一体となって力を出し切る姿を観て頂き、わずかでも心をふるわせるきっかけとなることをねがう
- ・コンスタントに上演実績を積むことが団体の力の蓄積となり、次へのステップとなる。
- ・公演前日は会場にてバックステージツアーを実施し、普段では見ることのできない舞台作りの裏側を見る機会を提供することで舞台の世界に興味をもつきつかけを作る。

事業計画

【バックステージツアー】

- ・チラシやHP、情報紙などでより多くの市民に開催を知らせる。
- ・仕込み終了後、舞台監督の案内で照明、音響、舞台装置などの説明をうけてもらう。
- ・キャストにまじって舞台に立つ体験をする。
- ・タイミングがあればリハーサル見学をする。

【ミュージカル上演】

- ・各分野のプロの指導のもと、市内公共施設で稽古をかさねる。
- ・チラシや情報紙等による宣伝活動や市内イベントへの参加で、より多くの市民に公演実施を知らせる。
- ・家族で気軽に観劇できるよう、入場料は1000円とし、チケット収益は公演経費にあてる。
- ・公演終了後は、速やかに撤収作業に取りかかる。

ミュージカルCoCo～事業予算案 (2013年さくや姫とあおい公演予算)

収入の部

		金額
狛江市市民公益活動事業補助金		¥200,000
チケット売上(メンバー配布)	1,000円×20人×30枚	¥600,000
チケット売上(一般当日含む)	1,000円×300枚	¥300,000
本会計より補てん		¥587,700
参加費	10,000円×14世帯	¥140,000
合 計		¥1,827,700

支出の部

科目		金額
エコルマ使用料	施設使用料(前年度入金)	¥170,700
	照明機材費	¥107,000
	ピアノ・机・椅子など	¥20,000
稽古場使用料	市内公共施設	¥40,000
委託料	脚本料	¥30,000
	演出料	¥200,000
	舞台監督料	¥150,000
	音響料	¥150,000
	照明料	¥315,000
	ワイヤレスマイクレンタル	¥80,000
	作曲・演奏料	¥100,000
	演奏料・歌唱指導	¥100,000
	演奏料@30,000×3	¥90,000
	振付指導	¥100,000
	衣装アドバイザー	¥10,000
	広告デザイン	¥15,000
大道具	舞台装置	¥60,000
小道具	持ち道具・衣装	¥10,000
印刷費	ポスター・チラシ等	¥30,000
消耗品・雑費	交通費・コピ一代・電池・郵送費	¥30,000
スタッフ保険		¥20,000
合 計		¥1,827,700



さくや姫 と あおい

ミュージカル CoCo～
第7回公演

脚本・演出／野崎 美子

2013年

7/14(日)

開演 13:00 [1回目]

16:30 [2回目] ※開場は30分前

狛江エコルマホール(小田急線狛江駅前)

入場料 1,000円(前売/当日共 全席自由)

※3才未満のお子様は無料です。(お膝の上にお乗せください。)

◎主催 ミュージカルCoCo～

◎後援 狛江市 狛江市教育委員会 狛江市社会福祉協議会

◎お申込み・お問合せ

たべがい/TEL.090-2766-8231・みうら/TEL.090-6518-5048

※ホームページからもお申し込み・お問い合わせいただけます。

◎チケット取扱(前売) 泉の森会館、狛江エコルマホール事務局



生きることをあきらめない。
ほら、世界は
こんなにも美しいのだから。

ミュージカルCoCo～が
今だからこそ伝えたい
「信じる」気持ち。
あの舞台が
待望の再演です!!

ミュージカルCoCo～
キャスト&制作スタッフ
募集中!
<http://COCO.hen.jp>
詳しくはホームページをご覧ください

さくや姫とあおい ミュージカルCoCo～ 第7回公演

狛江のミュージカル劇団CoCo～は、お母さんと子供たちで構成されている。稽古は週1回。毎週土曜日、たくさんの行事と宿題を抱えた、大人みたいに忙しい子供と、もっと忙しいお母さんが、それでも芝居を創りにやってくる。

台詞を覚え、歌も振りも覚えて衣装まで作り、みんなさらに忙しくなる。でも誰ひとり、あきらめない。親と子供が力を合わせて、真剣勝負で舞台に挑んでくる。

「さくや姫とあおい」は、桜の精と人間の物語。

逞しくて、暖かくて、楽しくて優しい桜の精たちは、CoCo～の皆のようだ。 “生きること”を、あきらめていない。（野崎 美子／2008.11.3 初演コメントより）



脚本・演出・美術・作詞／野崎 美子 舞台監督／辰巳 次郎 振付／柳下 久美子 ダンス指導・振付／石川 千瑞子
歌唱指導／菊池 リカ 作曲・編曲・演奏／芳賀 一之 照明／増子 顕一（S.L.S） 音響／柳原 健二

ミュージカルCoCo～は、今年で結成9年目。毎回お越しいただいている皆様のおかげで、7回目の公演を迎えます。

- ♪市民ミュージカルだと思って正直なめてました。見てびっくり！ごめんなさい！！ ♪すごく元気をもらいました。
- ♪さまざまな年齢がみなキラキラしていて素敵。 ♪毎年とても楽しみにしています。
- ♪勉強、仕事、家庭があるのにがんばっている皆さんを見て、私もがんばらねばと思った。 ♪次の公演いつですか？！
- ♪生演奏というのがよかったです。演出がとてもよかったです。 ♪続きがあればみたい。（小学生）
- ♪これからも長く続けて。CoCo～ファンになった。

（前回の公演までに寄せられたアンケートより）

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



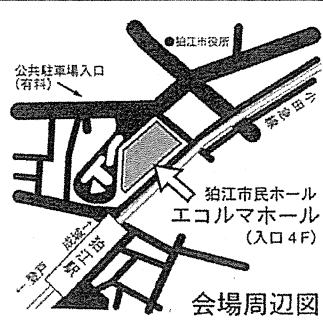
ミュージカルCoCo～ではキャスト・制作スタッフを募集しています

私たちと共に素敵な舞台を創りませんか？ 演技や唄、ダンスに興味のある方なら大人も子どもも大歓迎です。 ダンスやボイストレーニングの通常レッスンのほかにも、演劇ワークショップ等のスペシャルレッスンも開催♪ 毎週土曜日 18:00～21:00 に中央公民館ほか狛江市内の公共施設にてレッスンを行なっています。 皆様のご参加お待ちしています！ ご見学もお気軽にどうぞ☆

【お申し込み・お問い合わせ】

たべがい／TEL 090-2766-8231・みうら／TEL 090-6518-5048

* ミュージカルCoCo～ホームページからもお申し込みいただけます* <http://COCO.her.jp>



おにぎり少年団

平成25年5月16日

狛江市長 高橋 都彦 様

団体名 おにぎり少年団

代表者名 菊住 聖美

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成25年度）

事業名称	こども達の自主性を育み地域活性を図る少年団活動					
実施時期（予定）	平成25年6月1日～平成26年3月31日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	<p>狛江周辺の小、中学生を中心に、月3回の活動を通じこども達の考える力や生きる力を養う。その為、こども達は毎月一回の行事に向け毎月2回会議を行い、自分達で行事の内容や目標を定めていく。その活動を通じこども達の父母や、地域の方々と協力していき、狛江市全体と交流を持つことで、この活動を中心に地域活性に役立てる。</p> <p>今年度は、補助金による参加費削減をより広くアピールし、少年団の団員補強を行っていき、少年団外の交流を増やすことで、活動の幅を広げていきたい。</p>					

申込団体概要

団体名	おにぎり少年団					
代表者名	菊住 聖美					
所在地 (事務所等)	住所	()				
	電話		e-Mail			
	FAX		HP			
	氏名		電話	(自宅) (携帯)		
	住所	()				
	e-Mail					
会員数	24人（うち市内 23人）	会費等	無・有(年額・月額)			5300 円
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 (支出総額)	347025 円		
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度新しい風補助金交付 20年に渡る継続的な活動（地域小中学生とともに毎月3回、定期的な活動） いずみ児童館ノーベンバフェス、市民まつりに出店 					受付印 25.5.16 狛江市市民生活部 地域活性課

平成25年度

こども達の自主性を育み地域活性を図る少年団活動

主催：おにぎり少年団

今年度の目的

昨年度の新しい風補助金を受け、私達は新たな行事、キャンプでの遠出など、今まで理想としてきた少年団に、一歩近づくことが出来ました。

ですが、その活動を持続させ、継続していくには、まだまだ少年団の認知度が低いことや、地域との関わりが少ないことは解決しなくてはならない問題です。また、下の世代への橋渡しとして、今年度は少年団をより充実させていかなくてはならない年です。

昨年度は、参加費の負担を軽減し、キャンプも実験的に3泊4日で行うなど、少年団の基盤づくりに取り組んだことで、新規参加人数を増やすことのできた年でした。

今年はその結果を踏まえ、補助金を利用した少年団の認知度向上と、こどもの定着、外部との交流に特に力を入れていきたいと思います。

昨年と同様に、補助金を利用して参加費は安く抑えます。そうすることでこどもの参加人数と団員を更に増やし、最終的に補助金に頼らず活動を行える少年団づくりをしていきます。

実は昨年、新規団員も通常に比べ増えましたが、定期的に活動に参加しながらも、団員にはなっていない「準団員」の参加者がいたことも事実です。今年度は、この「準団員」を「正団員」として獲得することは勿論、比較的少ない高学年を補強していく足掛かりとしたいとも考えています。

また今年度は、魅力的な行事を行うことを外部にも積極的に宣伝していきたいと思います。

8月の青空学校復活準備会は、こどもの集客が行事の要ともいえます。今まで限られた場所でしか宣伝ができず中々集客に繋がりませんでしたが、今年は小学校や地域に広報活動を行い、より少年団を知って貰う機会を増やすとともに、魅力的な行事を安く行う事で、少年団のカラーをアピールしていきたいと思います。

少年団活動を通したこども達の成長と、柏江の地域活動の活性化に向け、是非今年度のおにぎり少年団にも期待していただきたいと思います。

成年責任指導員

杉 英恵

おにぎり少年団とは…

小学校1年生から中学校3年生までが団員となり、高校生以上の青年が指導員となって、年齢差関係なく、みんなで楽しみながら様々なことを学んでいこうという団体です。おにぎり少年団は月に3回活動しています。月1回の行事のために、2回の団会を通して行事の目標・内容を決定します。少年団では子供の自主性を育む為、行事の目標・内容は子供が決定します。その為に子供の中で団長・副団長・書記(以下、三役)という役職を作り、月2回の団会とは別に三役会も行い、行事当日も三役が中心となって、行事を行っています。

少年団の活動を通して、子供たちが考える力・生きる力を養うことを目的としています。

平成25年度

年間行事計画

4月：総会（完了）

役員選出、年間目標、約束、行事の決定。

5月：秘密基地づくり

五月晴れの下自分達の力で基地づくりに挑戦します。

6月：料理大会

みんなで一から企画をして料理をつくってみる行事です。

7月：キャンプ

少年団恒例のキャンプ！サバイバルで協力や生きる知恵を体で学びます。

8月：青空学校

狛江の小中学校のこどもと一緒に、夏休み三日間を使っていろいろなテーマに取り組む地域全体での企画です。

9月：つり

つりに挑戦！大物を狙うため、皆で工夫をしてアイデアを出し合います。

10月：運動会

運動の秋、思いっきり体を動かして、行事を楽しめます。

11月：市民祭り

お店を出し、店番をして少年団を外部の方にアピールします。

12月：クリスマス会

ケーキづくり、ゲームなどをクリスマスを楽しむ行事です。

1月：新年会

新年の始めにある行事です。お正月らしいことをして楽しめます。

2月：スキー、スノーボード

新たな行事に挑戦！ ウィンタースポーツを楽しめます。

3月：総括

一年の総纏めをする月です。会議と併せて、お楽しみ企画をします。

<年間行事詳細>

4月 総会

年間活動報告

役員選出

年間目標・約束、年間行事の決定

指導員だけでなく、こども達、父母も一緒になって活動内容を決定していきます。

5月 秘密基地づくり

工夫を凝らして自分達で住める場所をつくってみる企画。

周りにあるものを使って基地づくりに挑戦します。

6月 料理大会

テーマを決め、メニューや準備をしていろいろな料理をつくります。

昨年はラーメンを麺から手作りし、

パフェをデザートにして料理づくりを楽しみました。



7月 キャンプ



少年団恒例の、本格的なサバイバルキャンプ！

昨年に引き続き、今年度も人里離れた山奥でのキャンプを計画しています。

こども達にとってあまり経験のない宿泊や、自然の中で生活することは、

自分の体で考え行動する力を持つのに大いに役立ちます。

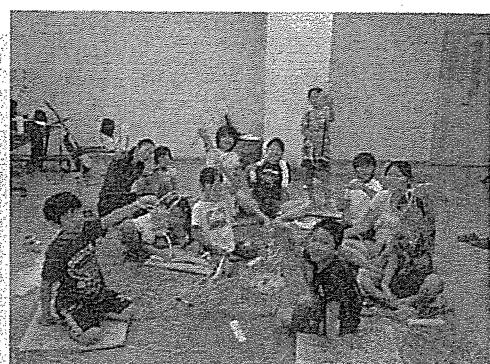
今回は前回より参加人数を増やし、キャンプを盛り上げることも一年の大きな目標のひとつです。

8月 青空学校復活準備会

夏休みの3日間を通して、色々なテーマに取り組みます。

泊江市の中学生・地域の方々と一緒に作り上げる大きな行事です。

今年は開催場所に考慮しながら、前年度までと比べ、多くの方に協力していただきながら、より地域を巻き込んだ青空を目指します。



9月 つり

釣りをみんなで楽しめます。普段あまりやることのない遊びから、楽しさやどうやつたらうまくいくか、工夫しながら協力して行事をつくります。

10月 運動会

秋らしく、運動をしよう！という企画です。スポーツ競技で記録を競ったり、勝敗をかけて戦ったり。思いっきり体を動かして楽しめます。

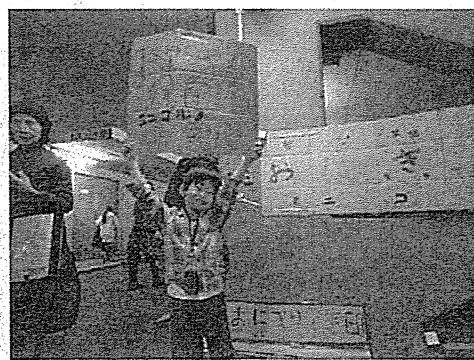
11月 市民祭り

市民祭りに出店して、外部の方にも少年団の活動を知って貰うためアピールします。

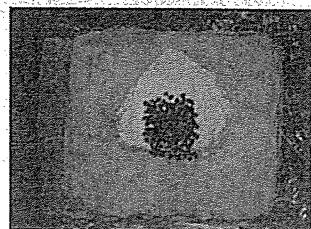
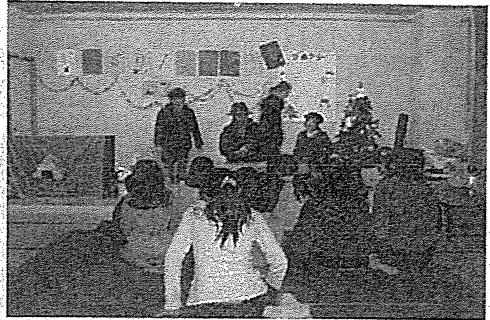
新規の団員を増やすチャンスもあります。

子ども達は店番だけでなく、準備も自分達で行います。

去年は地下駐車場でゴルフ盤とバザーを行いました。



12月 クリスマス会



みんなで楽しいあそびを考えたり、ケーキ作りをしながら、
クリスマスを満喫しようという企画です。

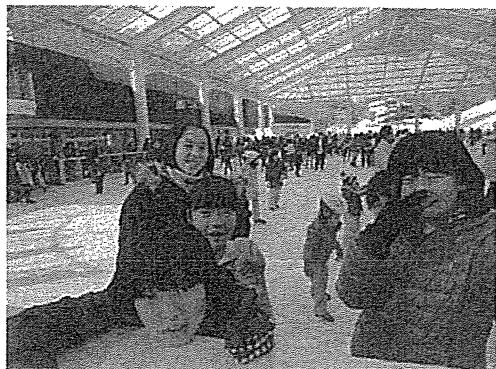
1月 新年会

かるたやお餅つきなど、新年ならではのことをしてお正月を満喫します。

臼と杵を借りてのお餅つきは、団員のこども達だけでなく、地域のお年寄りにも声をかけて貰つたりと、好評でした。



2月 スキー、スノーボード
初めての企画です。
以前から案はありましたが予算的に
断念していたため、今回初めて開催する
予定です。
こども達にとっても初めての企画を
盛り上げていきたいと思います。



3月 総括

役員解任

年間目標・約束の反省

一年間を通した反省会をこども達と行います。
自分達が一年間でどれだけ成長できたかを考え、来年につなげます。

平成25年度 おにぎり少年団 会計予算表

(収入の部)

科 目	金 額	備 考
平成25年度団費	60,000	一人月額400円×10ヶ月×団員(こども) 15人分 ※4、5月分は除く
保険加入費	7,500	500円×15人分
キャンプ費	50,000	
新しい風補助金	200,000	
収入合計	317,500	

(支出の部)

科 目	金 額	備 考
材料費	42,500	各事業用材料費
印刷費	20,000	配布資料・ポスター・チラシ等
キャンプ費	200,000	7月開催キャンプ用バス借上げ・会場使用料
消耗品費	15,000	
会場使用費	20,000	
保険加入費	10,000	
常備薬費	10,000	
支出合計	317,500	